

釣りガールの選んだイカ釣りタックル

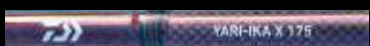
リーディング MG82HH-205MT

●ゲームロッドの幅を広げるマルチゲームコンセプト。6:4~8:2調子まで全13アイテム。今回使用したタイプは沖イカ以外にアカムツ、中深場、青物などにも転用可能。全長2.05m、自重185g、オモリ負荷50~150号、メーカー希望本体価格43,500円。発売中



ヤリイカX175

●初心者からベテランまで幅広く利用できるコスパに優れた沖イカ専用モデル。ほかに150モデルも。全長1.75m、自重163g、オモリ負荷80~150号、メーカー希望本体価格19,900円。発売中



レオブリッツ300J

●540gの軽量コンパクト、ハイパワー電動リール。ジョグレバー付きで快適な操作も可能。落下速度を瞬時に設定できるフォールブレーキダイヤル搭載。左巻きJ-Lも用意。ギア比5.1、自重540g、糸巻き量PE3号400m、4号300m、メーカー希望本体価格77,500円。3月発売予定



レオブリッツS500JP

●ハイパワー、ハイパフォーマンス電動リール。ワンハンド快適操作のジョグパワーレバー、電撃パワーのブリッツモーター、フォールブレーキダイヤル搭載。ギア比3.6、自重800g、糸巻き量PE5号500m、6号300m、メーカー希望本体価格60,000円。3月発売予定



▲持ち帰り方も万全。「プロバイザートラックII3500」に鮮度を保つイカ様トレーの使用がおすすめです



▶入れ乗りの最中でも食が優先。晴山さんが沖干しを作り始める
◀「これもイカ釣りの楽しみなんです」と2人は譲らない



▲「これは乗りました」とうれしそうに巻き上げる富士村さん



▲晴山さんも負けじとスルメのダブル
▶取り込みも徐々に慣れてきた



女性アングラー必読! 沖イカ簡単チャレンジ

★ダイワフィールドテスターの女性アングラー2人が存分に沖イカ釣りを楽しんだ



Ayaka Fujimura

★富士村彩花さんは「沖干しができる」とスルメイカを釣って大喜び

★晴山由梨さんはヤリイカ2杯掛けの好スタートを切った
▲大型船にゆつたり席を取り準備万端、いざ出船

Yuri Hareyama

晴山由梨、富士村彩花 イカ釣り女子会のすすめ

THE FRONT OF OFF SHORE FISHING vol.81

沖イカ最前線

at 三浦半島長井漆山港出船

●不安定な釣況が続いていた三浦半島長井出船の沖イカ(ヤリイカ、スルメイカ)がここへきてようやく安定した釣果が聞かれるようになった。今回はイカ釣り大好きな女性アングラー2人が、初心者、女性にも気軽に楽しめる沖イカ釣りを紹介する。

▲使用したのは快適イカ仕掛けミラー11S RF SS。リフレクト構造のミラーツノを使用したヤリイカ仕掛け。5、6、7本ツノの3アイテム。メーカー希望本体価格2,280~2,880円。発売中

▶速い潮にも屈せず、晴山さんがしっかりと乗りをとらえた



▲今回は今期のダイワ新製品を使用したの釣りだった



動画連動!



★当日の動画はダイワ「船最前線」よりご覧いただけます。

とある釣り業界のアンケートによると、女性アングラーが一度は釣ってみたいターゲットの第2位にランクインしているのがヤリ、スルメイカだということなみに1位はマグロ。
ダイワフィールドテスターの晴山由梨さんと富士村彩花さんが、それならと釣行を決めたのが三浦半島長井漆山港出船の沖イカ狙いだ。2人ともそれほど経験があるわけではないが、手軽に行けるイカ釣りの魅力を女性や初心者で紹介しつつ、自分たちも思い切り楽しんじゃおうというのだ。
乗船したのは同港の光三丸。大型船で釣り座も広ひろ、トイレも完備された女性でも安心して乗船できる船宿だ。仲よく右舷・左舷に並んで席を取り、7時ごろ出船となった。
2人が用意したタックルは晴山さんが「リーディングMG82HH-205MT」に「レオブリッツ300J」、富士村さんが「ヤリイカX175」に「レオブリッツS500JP」の組み合わせ。いずれも今期の新製品で、汎用性の高いコスパなタックルだ。
洲ノ崎沖の釣り場へは約1時間走って到着。船長の話では潮が速いので1流し1投になるとのこと。イカ釣りにはやや厳しい状況だ。
1時間ほどたつて船長は西方向に大移動。初めは「これも速い潮に悩まされたが、徐々に潮が緩んでくると、これまでの釣りが嘘のように好転する。
同乗のベテランはヤリ、スルメ交じりで3杯、4杯の多点掛け、2人も投入ごとに外れなしの釣れっぷり。
「イカ釣りって本当に楽しいわ」と富士村さん。
「この重さ感がたまりません」と晴山さん。女子会トークはいっそうにぎやかになってくる。
入れ乗りの最中であつても、アフターの楽しみを忘れないのがこの2人。釣れたスルメを沖干し、小型のヤリイカは持参したタレで沖漬け作りだ。
イカの乗りは納竿の1時まで衰えず、2人も十分すぎる釣果を得て竿を収める。
「初心者の私たちに気軽に楽しめる釣りなんです」
「イカ刺しでしょ、沖漬けでしょ、スルメの炙りでしょ。なんだか晩酌がとて楽しみ」
帰港中は釣りガールから釣り親父へと変わる2人だった。